

富田林だからこそできる
まちづくりがここにある

「若者会議」とは？

本市では、若者が活躍できるまちづくりを推進するため、「富田林市若者条例」を制定しました。

同条例に基づき創設された「富田林市若者会議」では、本市に関わりのある、おおむね16歳～30歳の若者を委員として委嘱し、ワークショップ形式で、市が抱える課題の解決や、まちをよりよくするための取り組みなど、さまざまなテーマで議論を進めます。

検討した施策は、市長に提案し、市とともにその実現をめざすという取り組みです。

今年で4年目と新しい取り組みですが、過去にはTOPピックで実施されたハロウィンイベントや、今年度、緑化フェア&植木市と同時開催された、「なすティバル」などが若者会議の提案から実施に至りました。



参加する委員は…

もちろん、はじめから富田林についてマスターしていたわけでもなければ、施策を考えるプロセスを理解していたわけでもありません。参加するきっかけも「まちづくりに関わりたい」や「富田林について知りたい」であったり、学生のなかには「先生の勤めがあつて、初めて若者会議を知りました」という人もいたりします。

任期が終わると…

約4カ月間の会議に参加し、任期終了後も引き続きまちづくりに関わりたいという委員は「若者会議OB・OG会」はいつも富田林（愛称…こことん）に加入し、自分たちが提案した施策のサポートをしたり、地域のイベントにも積極的に参加したりするなど、若者ならではの目線からまちづくりに関わっています。

実際に経験を通してまちづくりを学ぶことができるのも若者会議の醍醐味であり、ここで培った経験は今後委員の皆さんの糧となることでしょう。これからも、「こことん」は若者が活躍できるまちづくりのトップランナーとして走り続けます。

応援よろしく願います。

生涯学習課 (☎)8056



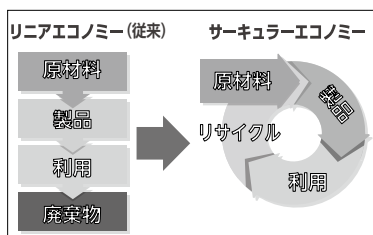
地球が大変です!!



地球温暖化が近年深刻な環境問題となっています。直近数十年の気候変動は、海面水位の変化や氷河の融解、洪水や熱波など私たちが住む地球環境に影響を与え、21世紀末の世界の平均地上気温は、2.6～4.8℃上昇すると予測されています。特に今年の夏は例年以上の気温上昇が予測されており、熱中症の危険性などが非常に高いので注意しましょう。

◆サーキュラーエコノミーをめざして

サーキュラーエコノミーとは、日本語に訳すと循環型経済となり、資源を廃棄しないことを前提に製品を生産し循環させる経済システムのことです。従来の大量生産・大量消費・大量廃棄の経済モデルから、「できるだけ長く使う」「できるだけ廃棄しないで済むようにする」「できるだけ再生利用する」などの考え方を主流に、環境への取り組みが求められるようになってきました。



地球にやさしい省エネライフ

地球温暖化は二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの濃度上昇に伴い地上の温室効果を高めることが原因です。原因となる温室効果ガスの排出量を抑えるために、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実践をお願いします。

◆サーキュラーエコノミーを生活に取り入れるポイント

①廃棄物を出さない、資源を循環させる工夫をする

②「使って捨てる」ではなく「使い続ける」「視点でものを選ぶ」

これからの時代は「捨てる」のではなく「使い続ける」ことが重要です。リサイクルは資源を一旦原料に戻して再利用しますが、その過程で温室効果ガスが発生し、環境に負荷がかかるため、物を選ぶ段階から「繰り返し使い続けられるもの」を選ぶ必要があるでしょう。物を購入する際には、多少高くても長く使い続けられるものを選ぶのがポイントです。

これらのポイントを意識することで、温室効果ガスの排出量を抑えることにも繋がります。

環境衛生課 (内線144)